

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門	動物飼育学科	夜・通信	8 単位	6 単位	
	動物看護師学科	夜・通信	270 時間	240 時間	
	総合ペット学科	夜・通信	11 単位	9 単位	
	動物医療飼育学科	夜・通信	14 単位	12 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校で公開しているホームページ上掲載の職業実践専門課程「別紙様式4」での公開の他、シラバス上で実務経験のある教員について明記し、学生便覧を通じて学生への告知をする。
公開ページ:<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(江戸川区)の名士として学校と地域の連携を図る。
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(北海道)の名士として学校と地域の連携を図る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。</p> <p>それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。</p> <p>完成したシラバスを学科基幹教員が確認し適宜修正を実施。</p> <p>学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.heco.ac.jp/disclose-information/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価は定期試験、授業参加度、出席点の3つによって決定する。</p> <p>各項目の配点率は各科目の特性を鑑みて担当教員が考えるため科目毎で異なる。</p> <p>定期試験は記述式やプレゼンテーション、制作など科目特性に応じた形で実施。</p> <p>科目毎の到達度を確認する。</p> <p>授業参加度は事前事後課題、発言、発表などの評価を行う。</p> <p>成績評価の概要は、学生便覧に記載し入学時のオリエンテーションで学生に説明する。</p> <p>各科目の細かい評価方法に関しては最初の授業の際に担当教員よりシラバスを用いて説明を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0 69-60点をD=1.0 59点以下をF=0 とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。 異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。 学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法 GPAを算出する計算式は以下のとおりです。(GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとします。)</p> <p>【GPAを算出する計算式】</p> $\text{GPA} = \frac{(\text{該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP})\text{の合計} \cdots \cdots \textcircled{1}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/2022_calculationmeth od.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>卒業の認定は、卒業までに必要なすべての授業科目の単位について単位認定試験等(追試験・再試験含む)による単位を修得した者を対象として、2月に学校長、教務部長及び学科教員による単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業が認定されない学生は卒業延期となる。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/2022_calculationmeth od.pdf

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
財産目録	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
事業報告書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
監事による監査報告（書）	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務分野		専門課程	動物飼育学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位	122 単位	57 単位	3 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			182 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		121 人	0 人	4 人	18 人	22 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>G P A を用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90 点を A=4.0 89-80 点を B=3.0 79-70 点を C=2.0</p> <p>69-60 点を D=1.0 59 点以下を F=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割り G P A を算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPA の算出方法</p> <p>GPA を算出する計算式は以下のとおりです。（GPA の算出は、小数点以下第 3 位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPA を算出する計算式】</p> $GPA \rightarrow \frac{(\text{該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得た GP}) \text{の合計} \cdots \cdots \textcircled{1}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年 2 月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
57 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (57.9%)	24 人 (42.1%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>動物園、水族館、観光牧場、畜産、環境教育施設、ペットショップ 等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>愛玩動物飼養管理士 等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120	6 人	5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的疾患、単位取得できず目的意識喪失</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	動物看護師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2400 単位時間	1260 単位 時間	1080 単位 時間	2610 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		98 人	0 人	3 人	15 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>G P A を用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90 点を A=4.0 89-80 点を B=3.0 79-70 点を C=2.0</p> <p>69-60 点を D=1.0 59 点以下を F=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割り G P A を算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPA の算出方法</p> <p>GPA を算出する計算式は以下のとおりです。（GPA の算出は、小数点以下第 3 位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPA を算出する計算式】</p> $GPA = \frac{(\text{該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得た GP}) \text{の合計} \cdots \cdots \textcircled{1}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年 2 月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (95%)	1 人 (5%)
（主な就職、業界等） 動物病院等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87 人	2 人	2.3%
（中途退学の主な理由） 精神的疾患、単位取得できず目的意識喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	総合ペット学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	90 単位	33 単位	144 単位	5 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			182 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		120 人	0 人	3 人	19 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>G P A を用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90 点を A=4.0 89-80 点を B=3.0 79-70 点を C=2.0</p> <p>69-60 点を D=1.0 59 点以下を F=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割り G P A を算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPA の算出方法</p> <p>GPA を算出する計算式は以下のとおりです。（GPA の算出は、小数点以下第 3 位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPA を算出する計算式】</p> $GPA = \frac{(\text{該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得た GP}) \text{の合計} \cdots \cdots \textcircled{1}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年 2 月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） ペットショップ、ペットサロン、訓練所、空港検疫所等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士 等			
（備考）（任意記載事項） ※令和４年度より開講 令和６年度で学科完成。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	4 人	5%
（中途退学の主な理由） 精神的疾患、単位取得できず目的意識喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	動物医療飼育学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	124 単位	162 単位	90 単位	31 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			283 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		30 人	0 人	4 人	18 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>G P A を用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90 点を A=4.0 89-80 点を B=3.0 79-70 点を C=2.0</p> <p>69-60 点を D=1.0 59 点以下を F=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割り G P A を算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPA の算出方法</p> <p>GPA を算出する計算式は以下のとおりです。（GPA の算出は、小数点以下第 3 位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPA を算出する計算式】</p> $GPA = \frac{(\text{該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得た GP}) \text{の合計} \cdots \cdots \textcircled{1}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年 2 月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 動物園、水族館、観光牧場、畜産、環境教育施設、ペットショップ 等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士 等			
（備考）（任意記載事項） 令和 5 年より開講、令和 8 年学科完成（3 年次編入者がおり、初卒業は令和 6 年度）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
動物飼育	100,000 円	600,000 円	820,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 290,000 円 教科書教材代 260,000 円
動物看護師	100,000 円	600,000 円	820,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 280,000 円 教科書教材代 270,000 円
総合ペット	100,000 円	600,000 円	900,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 280,000 円 教科書教材代 350,000 円
動物医療飼育	100,000 円	600,000 円	820,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 290,000 円 教科書教材代 260,000 円
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.heco.ac.jp/disclose-information/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>北海道エコ・動物自然専門学校の教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点の把握、目標の明確化を行い、必要な支援・改善を行うことにより教育水準の向上と質の保証を図ることを目指している。また、多くの外部評価を受けることにより、学校評価の精度を高め、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより、信頼される学校を目指したい。</p> <p>①評価項目「1 教育理念・目的・育成人材像」「2 学校運営」「3 教育活動」「4 学修成果」「5 学生支援」「6 教育環境」「7 学生の募集と受け入れ」「8.財務」「9.法令等の遵守」「10.社会貢献・国際交流)」</p> <p>②評価委員の構成「卒業生代表」「在校生保護者」「高等学校」「業界代表」「地域代表」6名以内で構成する。</p> <p>③評価結果の活用方法「教育活動の改善点や課題を明確にし、具体的な改善策を検討・実施する」</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
道内ホームセンターペット事業部	2024 年 4 月～2026 年 3 月	卒業生代表
在校生保護者	2024 年 4 月～2026 年 3 月	保護者代表
北海道恵庭北高等学校 進路部長	2024 年 4 月～2026 年 3 月	高等学校関係者
市内ドッグサロン経営	2024 年 4 月～2026 年 3 月	地域関係者
道内大手ペットショップ 代表取締役	2024 年 4 月～2026 年 3 月	業界関係者

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heco.ac.jp/disclose-information/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heco.ac.jp/
--